

□令和5年度 芭蕉翁献詠俳句 一般の部 【入選】

選者名	俳句	住所	俳号
稲畑廣太郎	俳諧の道生涯の道涼し	西宮市	本郷 桂子
稲畑廣太郎	原色の誘惑に負け氷水	神戸市	玉手 のり子
稲畑廣太郎	花野へと飛び込んでゆく下山かな	伊賀市	池本 準一
稲畑廣太郎	せせらぎの音に触れ合ふ踊子草	名張市	廣嶋 照子
稲畑廣太郎	源流の華やぐ螢舞ふ夕べ	西宮市	柄川 武子
稲畑廣太郎	駈け込みて七百畳に涼みけり	四日市市	浅川 八重
稲畑廣太郎	すこし距離置きたき日ありサングラス	神戸市	高橋 純子
稲畑廣太郎	自由なき一直線の蟻の列	岡山市	名木田 純子
稲畑廣太郎	大木の鳥放り出す青嵐	前橋市	深澤 佳子
稲畑廣太郎	どこからか風の声する夕牡丹	前橋市	養田 博子
稲畑廣太郎	指先に伝へ来る音山清水	前橋市	小池 志津女
稲畑廣太郎	梅雨晴間山の風車の勢ひかな	伊賀市	福森 志津子
稲畑廣太郎	雷の六方踏んで近づき来	鈴鹿市	古川 和子
稲畑廣太郎	沈黙は秘めたる決意冷奴	福岡市	梶原 敏子
稲畑廣太郎	自転車をみがいて明日卒業す	津市	日比 法子
稲畑廣太郎	螢火を末客とする茶の湯かな	津市	齋藤 康治
稲畑廣太郎	蜜豆もついて海軍カレーかな	半田市	新美 達夫

稲畑廣太郎	薫風や足でもの言ふおんぶの子	奈良市	上田 由姫子
稲畑廣太郎	天高し幼馴染の三墨打	那珂川市	池田 ひさ絵
稲畑廣太郎	来世へと羽搏く吐息冬の蝶	伊賀市	森本 文子
井上 弘美	城灯り膳のととのふ桃青忌	江戸川区	坂本 昭子
井上 弘美	ほぐされて椀の鮎めし香りけり	世田谷区	後藤 周平
井上 弘美	鴨どつと発ちて日だまり残りけり	日野市	田村 登代子
井上 弘美	糸取の月に指さき濡らしては	八王子市	大山 妙子
井上 弘美	ふらんどの風余らせてゆくばかり	府中市	日暮 原子
井上 弘美	水口に月ふりそそぐ虫送	江東区	星野 将江
井上 弘美	骨酒は深山の香り夜半の秋	調布市	岸根 明
井上 弘美	夜店ひしめく冥界は路地の奥	川崎市	小野 美智子
井上 弘美	水瓶の失せて涼しき観世音	志木市	真尾 公子
井上 弘美	秋草をしなる高さに束ねけり	名古屋市	香坂 泉
井上 弘美	海山の風の交はる雪解富士	大田区	真隅 素子
井上 弘美	芭蕉忌の影ゆるびなき天守かな	文京区	市村 和湖
井上 弘美	虫喰ひの葉を摺染に藍涼し	京都市	岡村 美江
井上 弘美	玉虫は月の零せしひと雫	越谷市	鈴木 恭子
井上 弘美	秋澄むや時の滴る水時計	高岡市	牧野 実奈
井上 弘美	鳥渡るなり真つ新たな風連れて	杉並区	田中 佳子

井上 弘美	櫓の音にやがて人声夏の霧	練馬区	外川 綾子
井上 弘美	湯気あがるばん馬の背中雪しぐれ	練馬区	石井 稔子
井上 弘美	蛸壺の砂に埋もれて月見草	明石市	石井 清吾
井上 弘美	ひと夜さの鼻緒に染まる素跣かな	伊賀市	羽根 千恵
小川軽舟	みづうみへ向く秋冷の木椅子かな	前橋市	糸井 芳子
小川軽舟	向日葵やウクライナの黄ゴッホの黄	飯田市	吉池 保男
小川軽舟	つばめ来る真昼静かな新聞屋	龍ヶ崎市	中山 美恵子
小川軽舟	みんなや息を継ぎつぎ坂上る	龍ヶ崎市	白取 せち
小川軽舟	一時間半の通学花は葉に	四日市市	佐藤 径
小川軽舟	透明な我が口笛よ冬木立	岡崎市	上野 祥樹
小川軽舟	まがり屋の牛の水桶夏の月	東大阪市	大北 広海
小川軽舟	夕刊をはらりとたたみ冷奴	桜井市	中 博司
小川軽舟	点火するガスの匂ひや秋深し	大田区	関口 昭男
小川軽舟	単線の鉄道のひかり夏めきぬ	伊賀市	橋本 良子
小川軽舟	助手席の妻の案内ねむの花	伊賀市	森永 宏
小川軽舟	白球を追いかける声夏近し	伊賀市	工藤 大知
小川軽舟	後ろ手を突きどぜう屋の簞	さいたま市	西嶋 景子
小川軽舟	桐一葉老兵は影置きて去る	横浜市	加藤 房子
小川軽舟	足濡らす明けの畦道草の花	川崎市	荒井 東

小川 軽舟	ペンキ塗る漁夫待春の舟だまり	由布市	小野 蒼水
小川 軽舟	硬券の一両列車雲の峰	春日部市	櫻井 俊治
小川 軽舟	紫陽花や農家の土間の薄あかり	板橋区	井上 茅
小川 軽舟	緑さす母校跡地に重機入る	宍粟市	宗平 圭司
小川 軽舟	少し前まではヤンキー祭髪	川越市	渡邊 隆
小澤 實	縁の下掘りて犬寝る大暑かな	杉並区	岡本 春水
小澤 實	父の日の手を取り爪を切りにけり	伊賀市	中島 庸子
小澤 實	裏門にお軽もゐるや立版古	文京区	市村 和湖
小澤 實	トランペット鳴り渡りけり初御空	岡山県	西村 泉
小澤 實	夏の灯や釜焼きピザは膨らみて	葛飾区	川角 由美子
小澤 實	魯田の斜め横断遅刻の子	茅ヶ崎市	塚本 治彦
小澤 實	鶉野へ識別標を付けられて	府中市	佐野 一郎
小澤 實	紫陽花や絵筆を洗ふ女学生	品川区	蛭田 恒美
小澤 實	両どなりの家も歓声遠花火	横浜市	長山 香織
小澤 實	蟾を呼ぶ蟾の鳴きゐる月夜かな	青梅市	津布久 信雄
小澤 實	ガスボンベ担いで来たる梅雨の路地	伊賀市	上田 幸子
小澤 實	左官屋の車の影に三尺寝	伊賀市	速水 英子
小澤 實	梅雨晴間マティスの金魚泳ぎだす	豊島区	設楽 恵子
小澤 實	苔の香や秋水に古墨を擦れば	新宿区	冬魚

小澤 實	試合後の握手互いに汗ばみて	東海市	斉藤 浩美
小澤 實	大花火音だけ聞こえほえる犬	伊賀市	松本 聖子
小澤 實	女将たる真砂女を見たし夏暖簾	三木市	岡本 やすし
小澤 實	海底を跳ねて逃げたる帆立貝	横浜市	岡 まゆみ
小澤 實	雨乞やミシシッピデルタブルース	横浜市	前島 康樹
小澤 實	蝉の声聞きつつ磨く祖母の墓	伊賀市	森林 紗織
權未知子	風死すや無人の町に空一枚	大田区	佐瀬 はま代
權未知子	ぼろぼろの阿Q正伝冬終る	岡崎市	石川 休塵
權未知子	朝ぐもり抜くには惜しき草のあり	小田原市	寶子山 京子
權未知子	夏座敷木曾の最期を読んでみる	稲沢市	錦野 圭子
權未知子	おほかたは入日になじみ袋掛	京都市	宇野 恭子
權未知子	字に名をのこしてしづか柿の秋	川崎市	百田 広香
權未知子	行く春や渦と消えゆく風呂の水	米子市	すずき みのる
權未知子	どの猫も橋を渡らず曼珠沙華	足利市	川島 ひろの
權未知子	着ぶくれてさかだちする子ささえる子	鈴鹿市	高尾 彩
權未知子	風呂の湯を抜いて聖樹の灯を消して	名張市	森永 侑樹
權未知子	名を付けて仔猫のまなこ開くを待つ	横浜市	秋元 正
權未知子	街路樹に雨のやすらふ入彼岸	文京区	鶴巻 貴代美
權未知子	艦名はひらがなばかり夏休み	須坂市	宮部 高典

權未知子	あめんぼは力を抜いてゐるやうな	千葉市	島木 翠
權未知子	荒神の祭へ伐りし竹匂ふ	伊賀市	土井 陽代
權未知子	百合の香のゆふぐれの径せばめをり	世田谷区	小山 良枝
權未知子	手洗ひの瘦せし石鹼小鳥来る	伊賀市	上田 幸子
權未知子	菖蒲湯を出でて素直になりけり	板橋区	笠原 みわ子
權未知子	朝の水よろこぶ肌夏立てり	伊賀市	坂石 佳音
權未知子	夏出水馬房に小さき闇残し	小平市	大月 弓香
坂口 緑志	蓑虫庵葺替へし屋根月涼し	伊賀市	土井 陽代
坂口 緑志	日輪は神鏡の如霾ぐもり	三重県	金津 やよい
坂口 緑志	隅蓋に止まりて夏至の夕鴉	伊賀市	永井 みよ
坂口 緑志	藪草の白の更けゆく一燈下	伊賀市	西田 尚子
坂口 緑志	今年又この花蔭にゐて老いぬ	伊賀市	原 禮子
坂口 緑志	草引くや水筒が木に結へあり	江南市	山口 南海子
坂口 緑志	蝸牛急く時角のよく伸びて	鈴鹿市	浜西 修
坂口 緑志	千代尼の碑残る脇門百日紅	名古屋市	坂倉 公子
坂口 緑志	紫陽花の藍深まれる鍵屋辻	伊賀市	猪岡 節夫
坂口 緑志	虫送り棚田の数の燭を立て	大府市	鷹羽 しん女
坂口 緑志	秘めやかに南蛮煙管月を待つ	名張市	森岡 秀美
坂口 緑志	百千鳥巨きな耳の調律師	西尾市	齋藤 朗笛

坂口 緑志	老鶯の声澄む谿に葬の列	名古屋市	黒野 涼子
坂口 緑志	紅花やまた寿貞の忌巡り来て	伊賀市	西田 ゆかり
坂口 緑志	栗の花散る参道も翁道	伊賀市	三山 隆一
坂口 緑志	家康の馳せし峠や道をしへ	伊賀市	桑原 智代美
坂口 緑志	朝焼けの曾爾の嶺々深雪して	名張市	岡森 競一
坂口 緑志	白き熱秘めし大山蓮華咲く	三重県	石井 洋子
坂口 緑志	初夏の空搾れば青のしたたるか	伊賀市	稲垣 桂
坂口 緑志	真清水を手向くる海女や潮仏	志摩市	谷口 ちほ
西村 和子	葛の花母の強さを今を知る	堺市	守作 けい子
西村 和子	故郷は海賊の島雁のこゑ	大阪市	中川 富美子
西村 和子	繁華街辻に不動の寒行僧	東広島市	伊藤 孝子
西村 和子	小頭の木遣りが合図夏祭り	世田谷区	松井 明夫
西村 和子	墨審の拳たかだか夏終る	江戸川区	羽住 博之
西村 和子	母にしか言へぬ話や蓬餅	弥富市	富田 範保
西村 和子	一瞬に若布さ緑茹で上がる	三重県	金津 やよい
西村 和子	撥叩く津軽三味線夏怒濤	栗東市	小野 雅子
西村 和子	山葵沢砂をどらせて水奔る	枚方市	讓尾 三枝子
西村 和子	一本を取られ一礼初稽古	福岡市	白井 道義
西村 和子	雛市を抜けて怪しき空のいろ	世田谷区	小山 良枝

西村 和子	茅花流しバス停の椅子壊れさう	津市	山本 清稀人
西村 和子	曲がるたび雪深くなる家路かな	青森県	竹浪 誠也
西村 和子	三人の子の名うるはしお年玉	岡崎市	中根 由起子
西村 和子	寒念仏童がひとり躑いてゆく	三重県	武田 巨子
西村 和子	頼みごと土筆の袴取りながら	日進市	西本 君江
西村 和子	降りつづき滝の形相寄りつけず	伊賀市	山村 としお
西村 和子	灯を消して河鹿笛聴く谷の宿	多治見市	中村 了仙
西村 和子	雨雲に馴染んでゆくや花檮	津市	神田 八三
西村 和子	刺の木に卵托しぬ揚羽蝶	奈良市	梅本 幸子
長谷川 權	水に湯を足して母拭く窓の月	福島県	黒澤 正行
長谷川 權	ほたる火や杏子兜太も死に給ひ	江南市	山口 南海子
長谷川 權	人声の沖へ沖へと潮干狩	志摩市	中井 志汐
長谷川 權	卯の花腐し戦場どこもぬかるんで	岸和田市	青木 洋子
長谷川 權	憲法記念日前文語る師を偲ぶ	伊賀市	川口 義和
長谷川 權	湯気上がる四段大釜寒仕込	大府市	神谷 優
長谷川 權	境内を真っ赤に染めて達磨市	大府市	井村 晏通
長谷川 權	瀬戸内に毒ガスの島終戦日	西尾市	齋藤 朗笛
長谷川 權	黙禱に始まるクラス会の夏	伊賀市	西野 登志子
長谷川 權	割石の蔭に石工の三尺寝	伊賀市	澤井 重正

長谷川 權	折り紙の花一輪を母の日に	豊島区	神谷 淀水
長谷川 權	朝鮮の友と立合ふ草相撲	三郷市	山本 裕二
長谷川 權	徒然なか一人遊びや露の玉	伊万里市	田中 秋子
長谷川 權	かなしみを見られてしまふ昼寝覚	横浜市	三玉 一郎
長谷川 權	徘徊の母の帰りぬ春の月	長野市	渡辺 忠男
長谷川 權	水飲んでもう一睡と熱帯夜	笠間市	水柿 とし
長谷川 權	校長を無事に卒業三月尽	伊賀市	澤田 剛
長谷川 權	みんなや戦止みたる日を想ふ	津市	小林 古寿
長谷川 權	短冊の願ひ叶えよ未来の子	名張市	松本 睦
長谷川 權	ランドセル色とりどりの蕾たち	伊賀市	稲垣 碧星
星野 椿	蕉翁の生家の庭に花芭蕉	伊賀市	下村 哲朗
星野 椿	集合の笛に集まる大花野	横浜市	中村 洋子
星野 椿	躓きし暈の縁や青葉冷	伊賀市	上田 幸子
星野 椿	追いついて二人で下校さくら道	河内長野市	中西 博雅
星野 椿	長き夜の舌に転がす虚子百句	伊賀市	福沢 義男
星野 椿	献香の寺の格式星月夜	伊賀市	山村 勝子
星野 椿	特急の切裂きてゆく炎天下	京田辺市	古野 由美子
星野 椿	穀象や日に三升の竈飯	鈴鹿市	高尾 のり子
星野 椿	木の芽晴れ十三仏の風をさく	伊賀市	西山 登志子

星野 椿	緑さす俳聖殿の芭蕉像	津市	湯浅 重好
星野 椿	杖捨てて嫗のくぐる茅の輪かな	津市	内山 小枝子
星野 椿	川上に立ち初む焰鶉松火	西尾市	古賀 敦子
星野 椿	志摩の海女虚子の思ひ出語りけり	西尾市	齋藤 朗笛
星野 椿	茫々と海坂さみし終戦日	尾鷲市	中森 泰次
星野 椿	涅槃図の嘆きの声は描かれず	西尾市	蓮沼 たけし
星野 椿	夜干梅星のきらめき増えてきし	名張市	増田 笑子
星野 椿	湖に入る水路に浸す真桑瓜	世田谷区	後藤 周平
星野 椿	梅漬けることも息災なればこそ	四日市市	落合 智恵子
星野 椿	心地快き川瀬の音や恋蛍	尾鷲市	若林 証矢
星野 椿	古池やただ一輪の額の花	伊賀市	杉尾 美也子
堀本裕樹	生けるものすべてが螺旋夏の草	米子市	長田 遼平
堀本裕樹	乗り換える度に広がる青田かな	名古屋市	鈴木 薫
堀本裕樹	神苑をお借り申して蟻の塔	半田市	佐藤 ひさよ
堀本裕樹	すぐ焼かれてもよささうな羽抜鶏	西尾市	齋藤 朗笛
堀本裕樹	新幹線試走待つ街秋晴るる	勝山市	中村 佐代子
堀本裕樹	ずりずりとほぐす炒飯盛夏来る	東広島市	福岡 宏
堀本裕樹	白骨の鹿の眼窩や夏の空	京都市	恒藤 俊子
堀本裕樹	社章はづし老いの夜学の雑居ビル	善通寺市	合田 豊

堀本裕樹	獅子岩の浮き立つ影や月今宵	尾鷲市	高芝 美智子
堀本裕樹	春塵や羽で鳩打ち叩く鳩	鈴鹿市	高尾 彩
堀本裕樹	振り返るひとに頷く登山かな	名張市	森永 侑樹
堀本裕樹	初成りのトマトの厚き皮の味	伊賀市	中森 里江
堀本裕樹	用水の流れ豊かに夏めきぬ	伊賀市	橋本 良子
堀本裕樹	誘蛾灯へと本能も煩惱も	紀の川市	中島 走吟
堀本裕樹	鉄柵に象は遅日の鼻あづけ	京都市	林 游実子
堀本裕樹	サングラス外せば値切り上手なり	文京区	梶田 祥子
堀本裕樹	しもばしら忘れるためにふみにゆく	豊川市	鈴木 歌織
堀本裕樹	蒼海の大魚引き抜く跣かな	大阪市	古田 几城
堀本裕樹	伊太祁曾の名の木の芽吹く女神かな	堺市	森野 哲州
堀本裕樹	封ゆるく佐保姫の文とどきけり	岡山県	西村 泉
正木 ゆう子	あさま山荘突入の日の受験票	川越市	渡邊 隆
正木 ゆう子	和をもつて貴しとせずアマリリス	調布市	岸根 明
正木 ゆう子	亀の鳴くころには終うやデブリ処理	福島県	黒澤 正行
正木 ゆう子	桑は実に猿除高き山家かな	岡崎市	三浦 葵水
正木 ゆう子	大滝の有無を言はさず落ちにけり	八尾市	平尾 徹美
正木 ゆう子	刈り終へし羊ももいろ風光る	伊賀市	米野 てるみ
正木 ゆう子	マフラーをなびかす別れ跨線橋	名古屋市	小原 あつ子

正木 ゆう子	西瓜抱く腕に手応えさあ出荷	四日市市	桂山 八千代
正木 ゆう子	猿の浜藪を洗ひて争はず	香芝市	中村 翠孝
正木 ゆう子	網繕ふは機織るに似て石露の花	志摩市	鶴口 秀子
正木 ゆう子	漆黒の山に星鴉の寝息	伊賀市	小川 ひとみ
正木 ゆう子	暮るるまで野良着のままの端居かな	伊賀市	稲森 すま子
正木 ゆう子	十グラムお試し初夏の珈琲豆	名張市	森永 真里奈
正木 ゆう子	七つものブラックホール天道虫	横浜市	前島 康樹
正木 ゆう子	海渡る蝶に力を藤袴	三木市	岡本 やすし
正木 ゆう子	愛想無き一言なれど涼しけれ	三重県	武田 巨子
正木 ゆう子	闇がりを出でし鶺鴒の男振り	西尾市	古賀 敦子
正木 ゆう子	ひとりですゆるりゆらりと豆の花	岡崎市	平田 柚月
正木 ゆう子	行く雲を映す隙なく青田波	泉南市	芝野 和子
正木 ゆう子	コーヒーに塩ひとつまみ夏に入る	神戸市	武藤 優子
三村 純也	枇杷熟る島の暮しの外知らず	半田市	矢浦 みち子
三村 純也	大阪は第二の故郷祭鱧	枚方市	春名 勲
三村 純也	窯焚きの眠らぬ夜の青葉木菟	常滑市	鈴木 黄磁
三村 純也	大瑠璃のひと声雲を払ひけり	静岡市	岩崎 武士
三村 純也	おのがじし刻見定めて椿落つ	静岡市	堀 和久
三村 純也	郭公の一声鳴いて森深し	世田谷区	松村 直央

三村 純也	家苞に今朝産みたての寒卵	世田谷区	森 一平
三村 純也	鮎釣の胸の携帯電話鳴る	水戸市	相沢 正志斎
三村 純也	葉の先に揺れてででむし雨待てる	神戸市	山内 茉莉
三村 純也	さなくとも旅寝ねがたく鯿起し	宝塚市	廣田 祝世
三村 純也	水加減泥加減良し田植済む	津市	大村 弘子
三村 純也	雪溪の先端を水迸る	岐阜市	芝田 太
三村 純也	一代の蔵書の整理梅雨じめり	伊賀市	北出 たてを
三村 純也	病床の母の短き髪洗ふ	四日市市	栗原 ひろ子
三村 純也	開帳を爪先立ちにをろがみぬ	京都市	織作 香代
三村 純也	目を瞑り鳥の声きく鑑真忌	生駒市	福田 えいじ
三村 純也	地球儀に彼の国探る梅雨深し	西尾市	三浦 貞葉
三村 純也	献詠の書額古りたり翁の忌	奈良市	高橋 翠
三村 純也	西日さす駅舎にひびく駅ピアノ	伊賀市	井上 忠生
三村 純也	灯明りに艶増す梁や狩の宿	広島市	森本 弘子
宮坂 静生	寝袋を銀河の向きに合はせけり	諏訪市	矢崎 義人
宮坂 静生	とうすみや朝市ひらく整	南砺市	久保 美智子
宮坂 静生	底ひなき声やしみじみ梅雨蝟	茅野市	加藤 律子
宮坂 静生	吹流し流離の風を束ねたる	台東区	市川 浩実
宮坂 静生	雪溪の眩しさ顎上げにけり	荒川区	土方 公二

宮坂 静生	小切子やででこでんと稲の波	小牧市	鈴木 年春
宮坂 静生	指先に闇のからまる泥鰯掘り	世田谷区	野上 卓
宮坂 静生	糠床に塩を効かせる溽暑かな	瀬戸市	加藤 泰子
宮坂 静生	岩魚釣ぶあつい山に分け入りぬ	兵庫県	牧田 満知子
宮坂 静生	ホチキスで綴ぢし来し方秋隣	堺市	棕本 望生
宮坂 静生	茅の輪越し神の三輪山仰ぎけり	堺市	濱田 昭
宮坂 静生	旅の汽車枯野へ扉開きけり	神戸市	杉岡 壱風
宮坂 静生	待春や土墨の多き伊賀の國	名古屋市	岩田 半寒
宮坂 静生	どの蟬も固まる以前白緑	小平市	中澤 清
宮坂 静生	蓼科の黄菅あかりや暮れなづむ	四日市市	井戸 康子
宮坂 静生	軍港の四囲黙々と夏の雲	姫路市	神田 ししとう
宮坂 静生	汗しとど拭う間もなく乳搾り	出雲市	山本 京耕人
宮坂 静生	鬼灯や少年特攻兵の笑み	品川区	加藤 賢明
宮坂 静生	笹百合をいとほしむかに山の雨	西宮市	宮本 露子
宮坂 静生	清水汲む縄文土器の出でし丘	津市	小林 古寿
宮田 正和	空を突く蘇鉄雄花や健児の碑	豊見城市	古波蔵 里子
宮田 正和	パール・バックの全四巻や夏休	伊賀市	福田 容子
宮田 正和	燕来て川辺の景の足らひけり	四日市市	佐藤 径
宮田 正和	鉦彫の仏の笑まふ花明り	稲城市	児玉 真知子

宮田 正和	踏青や土踏まずより来る疲れ	志摩市	西尾 敬一
宮田 正和	いづくから来て秋耕の千枚田	伊賀市	桑原 智代美
宮田 正和	大夕立木々揺さぶりて被さり来	甲賀市	服部 登紀子
宮田 正和	もてなしと蓑虫庵の蚊遣り香	伊賀市	中嶋 國博
宮田 正和	補陀落の灘一望の夏怒濤	伊勢市	三ツ矢 龍美
宮田 正和	散り敷きていまだ盛りや沙羅の花	伊賀市	岡島 千秋
宮田 正和	明易やまぶたのうすき沖鷗	伊賀市	小川 ひとみ
宮田 正和	一望に植田千枚風青し	伊賀市	山下 久美
宮田 正和	荒梅雨や鯉の吐く水濁りみる	伊賀市	森永 康子
宮田 正和	草の葉の蛩を掬ふたなごごろ	伊賀市	北田 美智代
宮田 正和	晩涼のひときは灯す鉄工所	伊賀市	小倉 秋子
宮田 正和	ふるさとの水の音聴く青山河	宮崎市	渡辺 美記枝
宮田 正和	蟬時雨止みて潮騒残りけり	伊勢市	久世 伸子
宮田 正和	青時雨はたと出合ひし友ひとり	伊賀市	橋本 秀子
宮田 正和	磯焼けを託つ頭の鮑海女	橿原市	鈴木 玲子

□令和5年度 芭蕉翁献詠俳句 テーマの部【入選】

片山 由美子	秋の雲銀座和光の時計塔	大田区	関口 昭男
片山 由美子	平和とはかくも静かや原爆忌	伊賀市	前出 美千子
片山 由美子	伊吹山晴れて遠足日和かな	名古屋市	光田 道子

片山 由美子	腰おろす石にぬくみや梅日和	茅ヶ崎市	長島 久江
片山 由美子	庭先へ新車の来たる秋日和	東海市	加藤 久子
片山 由美子	鈴虫の不協和音となりにけり	和歌山市	桑島 啓司
片山 由美子	一言を書き足す名刺秋日和	津山市	岡田 邦男
片山 由美子	庭に出て夫の髪切る石露日和	鈴鹿市	古川 和子
片山 由美子	新米の三和土に匂ふ谷戸の家	名古屋市	市之瀬 肇
片山 由美子	自転車で辿る大和路秋澄めり	和歌山県	桑原 里美
片山 由美子	図書館のいつもの席や冬日和	神戸市	武藤 龍雄
片山 由美子	どこまでも歩いてみたき秋日和	堺市	杉山 千恵子
片山 由美子	乱反射ひろがる湖面秋日和	横浜市	中村 洋子
片山 由美子	雁渡し和舟展示の博物館	尾鷲市	湯浅 桃代
片山 由美子	けふの風使ひ和布干す浜の隅	江南市	中西 定子
片山 由美子	六月の大和まほろば水匂ふ	奈良県	柏木 博
片山 由美子	見はるかす大和三山明け易し	名張市	三重丸
片山 由美子	和太鼓の一山統ぶる淑気かな	名張市	森川 和
片山 由美子	讚美歌に和音を覚え白百合咲く	練馬区	津田 隆
片山 由美子	断崖を和して同ぜず蔦紅葉	亀山市	岡田 良子